



## 地域の自然を活用して

三瀬保育園 園長 本間日出子

保育園から歩いて20分ほどで行ける距離に、ブナやモミの巨木があり国指定天然記念物に指定されている気比神社の社叢があります。また、歩いて45分程の距離には、頂上から庄内平野を眺望出来る八森山キャンプ場(スキー場)があります。そして、歩いて20分ほどで三瀬海岸にも行くことができます。保育園は田畑に囲まれ、裏山には雑木林があり多様な自然を感じる事が出来る素晴らしい環境の中にあります。

春・秋・冬は、ブナやモミの巨木がある気比の社叢(気比の森)に毎日のように入って遊びます。

三瀬は積雪が少なく、冬は森遊びに最適な季節です。真っ白な雪の上にウサギ・キツネ・タヌキ・リスの足跡を見つけ、追跡しては探偵気分になって遊んだりします。また、さまざまな動物の糞(ウンコ)との出会いも子どもたちの遊び心を刺激してくれる教材となります。動物の足跡・糞・食痕などのフィールドサインに出会うたびに想像を膨らませ、おもしろい遊びへと展開していきます。

2月の末には、森の中に花が咲き始めます。『オウレン』『ウスバサイシン』といった花が、気比の森にいち早く姿を見せてくれます。雪解けの地面にポツンと咲いている花との出会いはとても感動的です。3月になると、『キクザキイチゲ』という花も咲き始めます。

4月にはスプリングエフェメラル(春の妖精)真っ盛りの季節になります。森一面カタクリのお花畑になり、蝶やミツバチなどの虫の姿もみられ、まるでお伽話の世界に入り込んだような光景です。

新緑が美しい5月は、キャンプには最高の季節です。八森山にデイキャンプに出かけることが多くなります。

6月は、森や山には蜂や蚊が多くなり活動出来なくなってしまいます。初夏から初秋にかけては、田んぼ・畑・近くの野原での活動が盛んになります。子どもたち自らが田植えをした『わくわく田んぼ』や、たくさんの種類の野菜を植えて育てた『ぐんぐん畑』に、毎日足を運びます。

9月には、海辺での活動を多く計画し、海辺でデイキャンプもします。

10月には、また、活動の場所を八森山に戻して、毎週一回デイキャンプに出かけます。紅葉・や森の冬支度といった秋ならではの自然現象や、食べられる木の実や色・形・大きさといった事への興味も高まります。11月12月は、また、気比の森活動に最適な季節となります。

このように、三瀬の豊かな自然を活用し『心も体もたくましい子どもを育む』ことを目標にして保育を実践しているところです。そして、保育を実践して感じることは、自然の中では総合的な保育の展開が出来る利点があるという事です。自然の中で何かに出会うと、「何だろう?」と興味や好奇心が生まれます。そして、いつの間にかたくさん子ども達の目と心が集まり、共感という他人との心の繋がりが育まれていきます。そして、「一緒に考えてみよう!」「みんなで調べてみよう!」といった自主性を育み、協力といった人との関わりへと発達していきます。

また、自然物には一つとして同じ色や形、大きさの物はありません。集めたり比べたりといった活動の中では、様々な科学の芽が育まれていくように思います。

雨や風の強い日以外は、とにかく三瀬の豊かな自然環境の中でたっぷりと遊ぶ保育の実践をこれからも大切にしていきたいと考えています。

